

Bee 8

User Manual

Documentversion	V1.4
Released date	2015-12

目次

1.	概要	1
1.1	製品機能	1
1.2	製品の特長	2
2.	BEE 8 操作ガイド	3
2.1	前面パネル 操作ボタンガイド	3
2.2	ボタン操作説明	4
2.3	背面パネル 操作ボタンガイド	7
3.	BEE 8 構成	8
3.1	BEE 8 WEB インターフェース ログイン	8
3.2	録画設定	9
3.3	ファイル管理	10
3.4	設定	12
3.4.1	Video 設定	12
3.4.2	Audio 設定	13
3.4.3	配信	15
3.4.4	カメラ制御	19
3.4.5	Video 調整	21
3.4.6	タイトル/ロゴ	22
3.4.7	ディスク管理	23
3.4.8	PPT 切替	24
3.5	システム管理	25
3.5.1	ネットワーク	25
3.5.2	ユーザー	26
3.5.3	機器名称	27
3.5.4	プラットフォーム	28
3.5.5	メンテナンス	29
3.5.6	USB	31
3.5.7	PPTPush	32
3.6	システム情報	33

1. 概要

1.1 製品機能

Bee 8 はSZ REACH TECH CO.LTD によって開発された高い機能を持った収録配信システムです。最新の動画処理チップ DaVinci 168 をベースにしており、HD ビデオ、音声、VGA、USB の入力/出力に対応しています。様々な入力ソースの合成が可能で、MP4 形式のファイルを作成することができます。Figure 1-1 は Bee 8 の筐体写真です。



Figure 1-1

Bee 8 は Web 管理ページや管理 PC、iPad、Media Center と接続し操作可能です。Figure 1-2 は Bee 8 のネットワーク構成を示しています。

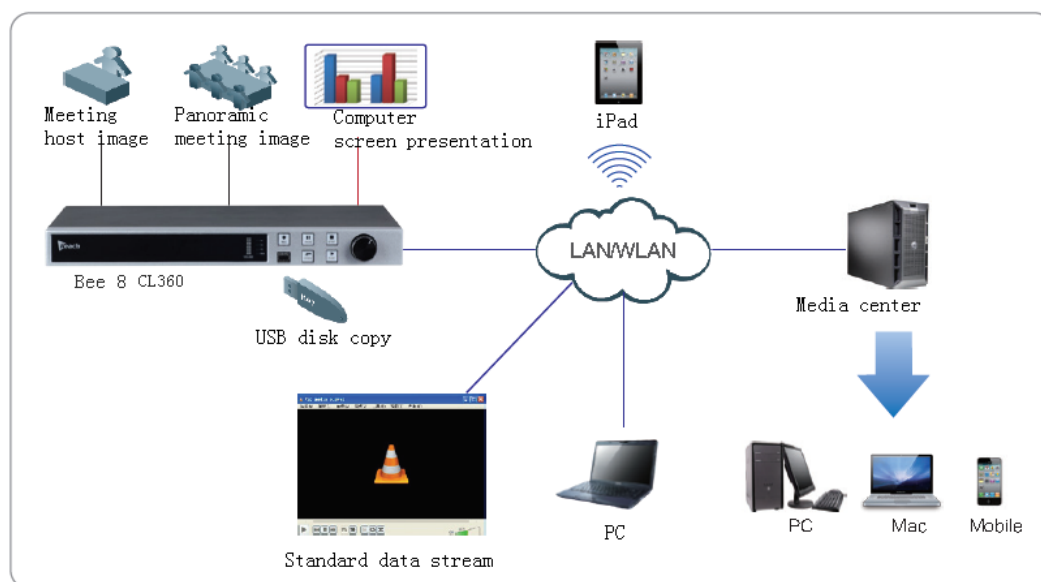


Figure 1-2

Web 管理ページ:

- Bee 8 をリモートで操作・管理し、システムパラメータを設定します。

管理 PC:

- IP ネットワークを通じて、管理 PC に接続された Bee 8 の状態を監視できます。また、教室や会議室に設置されているカメラをコントロールできます。

iPad:

- IP ネットワークを通じて、iPad に接続された Bee 8 の状態を監視できます。また、教室や会議室に設置されているカメラをコントロールできます。iPad 専用の接続となり、管理 PC と比較すると、軽くて持ち運びやすく、簡単に操作できます。

Media Center :

- ユーザーと情報のやり取りができ、IP ネットワークを通じて接続された Bee 8 のパラメータの設定や収録の管理が行えます。ユーザーは Web ページにログインすることで、管理者の設定のもと、ライブ配信や VOD 配信を視聴することができます。
- 管理者はパラメータの設定、視聴権限の設定、Bee 8 で収録した動画コンテンツのアップロード・公開を行うことができます。

1.2 製品の特長

- ライブ配信・収録、HD 品質動画の VOD 配信(Media Center 併用の場合)
- MP4 形式のコンテンツの作成
- 短時間ダウンロード、USB への直接録画が可能
- RTSP、RTMP ライブ対応

2. Bee 8 操作ガイド

2.1 前面パネル 操作ボタンガイド

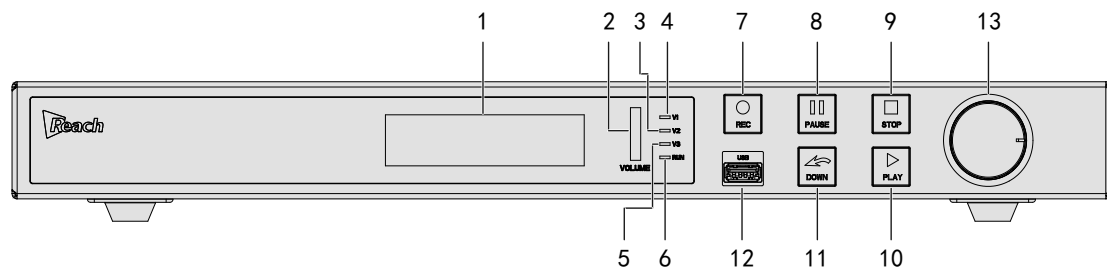


Figure 2-1

No.	名前	説明
1	LCD screen	Bee 8 の状態を表示します。起動している間は、 Starting と表示され、起動したあとは、IP アドレス、サブネットマスク、ネットワークゲートウェイが表示されます。
2	Volume	音声レベルを表示します。 音声バーが高いほど、音声が大きく、音声バーが低いほど、音声小さいことを示します。
3 - 6	Status indicator	Bee 8 の状態を表示します。 3-5 は 3 つの入力ソースそれぞれの接続状況を表示します。ランプがついているときは、入力ソースが接続されており、ランプが消えているときは、接続されていないことを示しています。 6 は Bee 8 の動作状況を表示します。正常に動作しているときはランプが点滅し、正常に動作していないときはランプが消えます。
7	REC	収録を開始します。 収録していないときはランプが消えます。収録を行っていない/一時停止しているとき、ボタンを押すことで収録を開始できます。ボタンが押されたあとにランプがつきます。収録状況については LCD screen に表示されます。
8	PAUSE	収録/VOD 再生を一時停止します。 通常ランプは消えています。 Bee 8 で収録を行っているとき、一時停止をするためにボタンを押すことができます。ボタンが押されたあとにランプがつきます。同時に REC ボタンが消えます。収録を再開するときは、もう一度 REC ボタンを押します。 Bee8 で再生している VOD ファイルがあれば、 PAUSE ボタンを押すことで再生している映像を一時停止することができます。ボタンが押されたあとにランプがつきます。

No.	名前	説明
9	STOP	収録もしくは VOD 再生を停止します。通常ランプは消えています。 Bee8 で収録を行っているとき、停止をするためにボタンを押すことができます。 ボタンが押されたあとにランプがつき、その後消えます。収録状況については LCD screen に表示されます。 Bee8 で再生している VOD ファイルがあれば、このボタンを押すことで再生している映像を停止することができます。ボタンが押されたあとにランプがつき、その後消えます。Live 配信の状況が LCD screen に表示されます。
10	PLAY	VOD ファイルを再生します。このボタンを押すと、再生ファイルリストが表示されます。ボタンが押されたあとにランプがつきます。
11	Down	ファイルをダウンロードします。USB デバイスを接続し、このボタンを押すと再生ファイルリストが表示されます。ボタンが押されたあとにランプがつきます。
12	USB	ハードディスクに保存されている動画ファイルを USB デバイスにエクスポートします。(高ビットレートでエクスポート) また収録している動画ファイルをリアルタイムに USB デバイスに保存することができます。 USB ポートは、USB ディスクと USB ハードドライブに対応しています。 (EXT3, NTFS, FAT32)。
13	Knob	VOD 再生ファイルの中からファイルを選択し、早送り/巻き戻しを行います。ノブを押すことで、再生するファイルを決定します。 一時停止された動画ファイルを再生します。 ダウンロード(11 参照)の際にファイルを選択します。ノブを押すことでダウンロードするファイルを決定します。

2.2 ボタン操作説明

・収録操作

収録: REC を押すと収録が開始されます。ボタンが押されたあとランプがつきます。

LCD screen に収録ファイルの情報が表示されます。

一時停止: Bee 8 が収録中に **Pause** を押すと一時停止します。**Pause** ボタンのランプがつき、**REC** ボタンのランプが消えます。

停止: Bee 8 が収録中もしくは一時停止中に **STOP** を押すと、収録が停止します。**STOP** ボタンを押すと、ランプがつき、その後消えます。同時に **REC** や **PAUSE** ボタンのランプは消えます。**LCD screen** に Bee 8 の起動情報が表示されます。

・再生操作

Bee 8 が収録中ではないときに、**PLAY** を押すと再生メニューが表示されます。以下に再生手順を記載します。

1. **PLAY** を押して **LCD screen** に再生ファイルリストを表示します。
2. ノブを回して、再生するファイルを選択します。
3. ノブを押して再生するファイルを決定します。再生中のファイルの情報は **LCD screen** に表示されます。
4. 再生中にノブを時計回りに回すと早送りを、反時計回りに回すと巻き戻しをします。
5. 早送り/巻き戻しの最中に、ノブを押すとそこからファイルの再生が始まります。

備考: 再生中に **PLAY** を押すと、再生に影響を与えることなく、**LCD screen** に起動情報が表示されます。

もう一度 **PLAY** を押すと、**LCD screen** に再生ファイルの情報が表示されます。**PAUSE** や **STOP** を押すと、一時停止/停止します。

・USB ダウンロード操作

注意:

1. **USB** ポートに USB ディスクもしくは USB モバイルハードディスクが接続されていた場合、Bee 8 はディスクの空き容量を確認します。空き容量が 1GB より少ない場合、**LCD screen** 上の **USB** ランプが点滅します。その場合、USB ディスクにはダウンロードできません。
2. USB ディスクにダウンロードもしくは直接録画をしている最中に、USB ディスクの空き容量が 50MB 以下になった場合、Bee 8 はダウンロード/録画を停止し、**LCD screen** に情報を表示します。
3. ファイルをダウンロードするためには、Web ページ上で USB ダウンロード機能を有効にする必要があります。詳細については **3.5.6 USB** を参照してください。

USB ダウンロード

Bee 8 が収録中でない場合:

1. USB ポートに USB ディスクもしくは USB モバイルハードディスクが接続されている場合、Bee 8 はディスクの空き容量を確認します。
2. **DOWN** を押すとランプがつきます。**LCD screen** にファイルリストが表示されます。
3. ノブを回してダウンロードするファイルを選択します。**LCD screen** に選択状況が表示されます。
4. ダウンロード終了後、**DOWN** ボタンのランプが消えます。

ダイレクト録画

USB ポートに USB ディスクもしくは USB モバイルハードディスクが接続した後に、Bee 8 で収録が行われた場合、Bee 8 は自動でリアルタイムに直接 USB ディスクに動画ファイルを保存します。

2.3 背面パネル 操作ボタンガイド

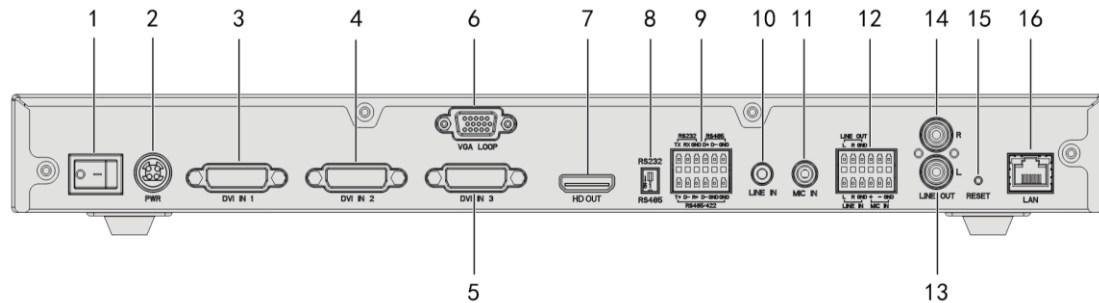


Figure 2-2

No.	名前	No.	名前
1	電源ボタン	9	R232/RS485/RS422
2	DC コネクタ (PWR)	10	ステレオミニジャック(3.5mm)入力 (LINE IN)
3	DVI-I 入力 1 (DVI IN 1)	11	RCA(モノラル)入力 (MIC IN)
4	DVI-I 入力 2 (DVI IN 2)	12	Phoenix マイク/ステレオ入力
5	DVI-I 入力 3 (DVI IN 3)	13	RCA(ステレオ)出力(左チャンネル)
6	VGA 入力 スルーアウト (VGA LOOP)	14	RCA(ステレオ)出力 (右チャンネル)
7	映像出力 (HD OUT)	15	リセットボタン(RESET)
8	シリアルポート切り替え	16	LAN コネクタ (LAN)

3. Bee 8 構成

Bee 8 Web インターフェースは Bee 8 と接続して使用します。Web ページにログインして、Bee 8 のパラメーターをリモートで設定できます。

3.1 Bee 8 Web インターフェース ログイン

IE ブラウザを開き(IE8 以上)、Bee 8 の IP アドレスをアドレスバーに入力し、**Enter** を押します。Figure 3-1 のようにログインページが表示されます。



Figure 3-1

ユーザーID とパスワードを入力し(デフォルトで **admin**)、**Login** を押します。Figure 3-2 のように Bee 8 の Web ページが表示されます。**録画** ページがデフォルトで表示されます。



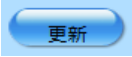
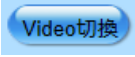
Figure 3-2

3.2 録画設定

録画 を押して、Figure3-3 のように録画設定ページを表示します。



Figure 3-3

1. HD、SD の 2 映像の収録をおこなうことができ、それぞれの**解像度**、**ビットレート**を指定します。(SD の解像度は固定)
2. **最大録画時間**のドロップダウンリストより最大で録画する時間を選択します。その時間を経過すると録画が中断されます。
3. **操作**の  を押すと録画を開始します。その後、 を押すと録画が一時停止し、 を押すと録画が停止します。
4.  を押すと、録画状態の情報が更新されます。
5. 映像ソースが 2 入力以上の場合、**ビデオ位置**の  を押すと、それぞれの映像ソースのレイアウト位置が入れ替わります。
6. **全画面**のボタンを押すとそれぞれの入力ソースが、全画面で表示されます。
7. **スケジュール録画**のチェックをすると、録画の時間指定がおこなえます。

3.3 ファイル管理

ファイル管理を押して Figure3-4 のようにファイル管理ページを表示します。



Figure 3-4

Bee8 で録画されたファイルの**ファイル名**、**録画日**、**サイズ**が確認されます。

1. **ファイル名**に任意の言葉を入力して、を押すと、ファイル名に同じ言葉が入ったファイルが表示されます。
2. **操作**の**ファイル名変更**をクリックします。ファイル名が編集できるようになるので、新しいファイル名に変更します。(Figure 3-5) ファイル名には英数字とアンダーバーのみ使用可能です。



Figure 3-5

-
3. **操作の削除**をクリックします。Figure 3-6 のようなポップアップが表示されます。OK を押すとファイルが削除されます。

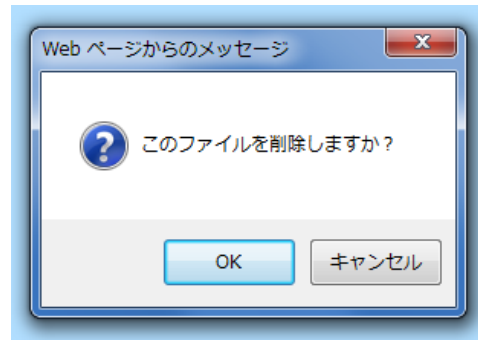


Figure 3-6

4. **操作のダウンロード**をクリックします。Figure 3-7 のようなポップアップが表示されます。ダウンロードしたいファイル上で右クリックし、「対象をファイルに保存」を選択して保存します。



注：MP4ファイルをダウンロードするには、ファイルへのリンクを右クリックして「保存」を選びます。

[1_1.mp4](#)

Figure 3-7

3.4 設定

設定 を押して、設定ページを表示します。Figure 3-8 のように **Video 設定** タブがデフォルトで表示されます。**設定** ページは8つのタブで構成されており、**Video 設定**、**Audio 設定**、**配信**、**カメラ制御**、**Video 調整**、**タイトル/ロゴ**、**ディスク管理**、**PPT 切替**があります。



Figure 3-8

3.4.1 Video 設定

Bee 8 が各端子より映像信号と接続されたあと、Web ページ上で **HD** か **SD** を選択することで信号形式を決定する必要があります。例えば、背面パネル上の **DVI IN 1** に、SD 信号が接続されていて、**DVI IN 2** に HD 信号が接続されていれば、Web ページ上の **Video Input** でそれぞれ対応する信号形式(SD か HD)を選択します。

1. 映像入力の種類によって **Input 1** と **Input 2** の信号形式を選択します。(Figure 3-9)
2. Figure 3-9 のように**出力解像度** のドロップダウンリストより出力解像度を選択します。
3. **手動**にチェックを入れた場合、映像信号が接続されている Input を選択します。2 入力以上選択すると、録画レイアウトが表示され、選択できます。(2 入力:7 パターン、3 入力:2 パターン)(Figure 3-9)



Figure 3-9

3.4.2 Audio 設定

Bee 8 が音声入力デバイスの接続を認識したあと、Bee 8 の背面パネルの接続タイプに従って Web ページで **LINE IN** もしくは **MIC IN** にチェックがつきます。

注意: 音声の質を保つために、接続が認識されていない入力にチェックを入れないでください。

1. 接続タイプによって **LINE IN** もしくは **MIC IN** にチェックがつきます。(Figure 3-10)



Figure 3-10

2. 構成を確定するために、**Save** を押します。設定が保存されたことを示すダイアログボックスが表示されます。(Figure 3-11)

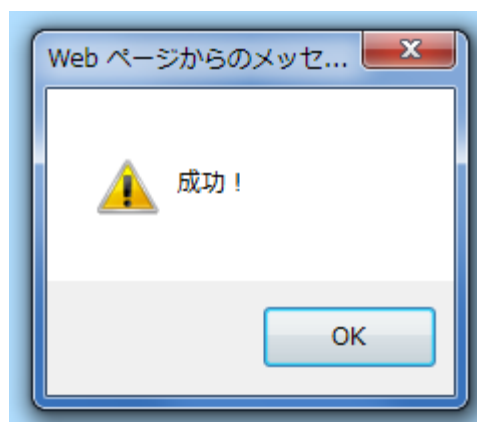


Figure 3-11

3. **OK** を押して設定を完了します。

3.4.3 配信

配信 を押してパラメーター設定ページを開きます。(Figure 3-12)



Figure 3-12

状態 は他のビデオプレーヤーへのライブ配信の設定状況を示します。操作は、有効、無効より選択できます。

RTSP と RTMP のプロトコルでのライブ配信が可能です。

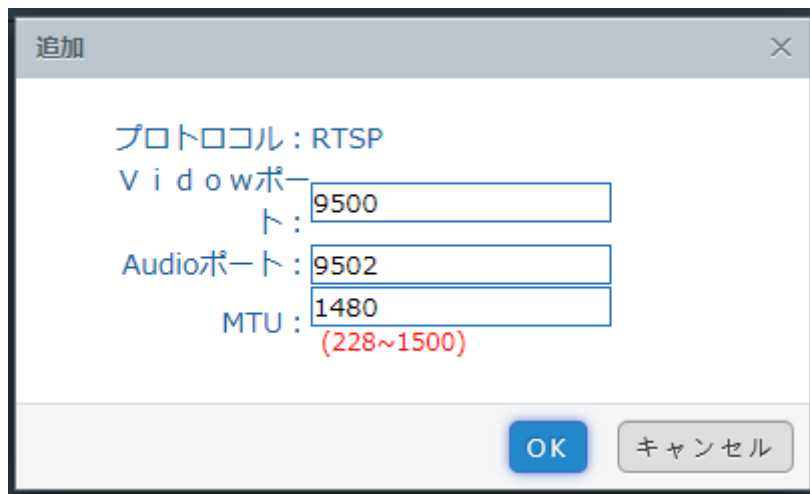
RTMP の設定は配信 URL に URL を記述し、操作を有効に変更します。

RTSP の設定は以下に記述します。

RTSP 配信アドレスの追加

削除した配信アドレスは、また追加することができます。

1. **RTSP の設定は設定ボタンで** Figure 3-15 のように配信アドレスの情報を設定できます。



追加

プロトコル: RTSP

V i d o w ポート: 9500

Audioポート: 9502

MTU: 1480
(228~1500)

OK キャンセル

Figure 3-15

2. **OK** を押すと Figure 3-16 のダイアログボックスが表示されます。

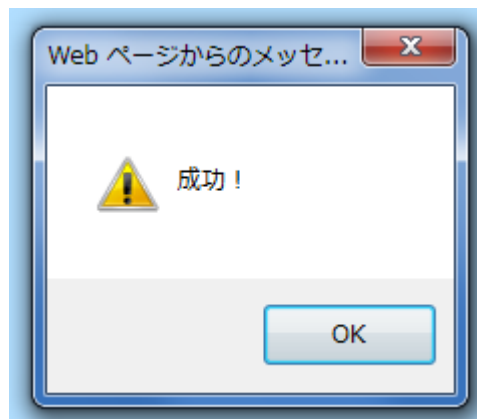


Figure 3-16

3. **OK** を押して追加の設定は完了です。

詳細設定

認証設定：必要に応じて、認証機能を有効/無効にします。**有効**を選択した場合ユーザー名とパスワードを入力したあとにプレーアドレスを使用してライブ配信を視聴できます。(デフォルトは、**guest- guest**)

無効 を選択した場合、ユーザー名とパスワードを入力することなく、直接ライブ配信を視聴できます。**設定** を構成するためのプロセスは以下に記載します。

1. **設定** を押して詳細設定ページを開きます。(Figure 3-17).



設定

プロトコル : RTSP

IP : 192.168.11.86

V i d o wポート : 9500

Audioポート : 9502

MTU : 1480 (228~1500)

アクセスコード : ○ 有効 ● 無効

OK キャンセル

Figure 3-17

2. 必要に応じて**アクセスコード** の**有効** を選択します。
3. **OK** を押して Figure 3-18 のようなダイアログボックスが表示されます。

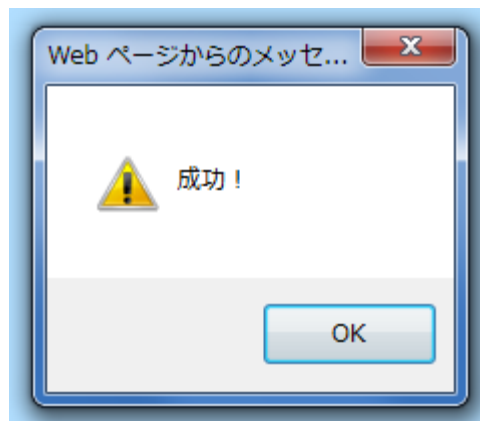


Figure 3-18

4. **OK** を押します。

3.4.4 カメラ制御

カメラコントロールプロトコルの設定

カメラ制御 を押して、Figure 3-19 のようなパラメーター設定ページを開きます。



Figure 3-19

カメラ制御

1. **Video input** より制御を行うカメラが接続された入力を選択します。
2. **速度**よりカメラを動かす早さを選択します。

3.  でカメラを上下左右に動かし、 で拡大縮小します。設定した位置
 を
で 4 つまでプリセットとして登録できます。

カメラのアドレス情報(ビット)設定

1. カメラの実際の場所に従って、アドレス情報(ビット)を設定します。 設定されたカメラアドレスが、実際のカメラ位置と同じであるときのみ、Web ページ上でパン・チル・ズームの制御が可能です。**Video 1**、 **Video 2**、 **Video 3** の対応するカメラにアドレス情報を設定してください。
2. **Save** を押すと Figure 3-20 のようなダイアログボックスが表示されます。

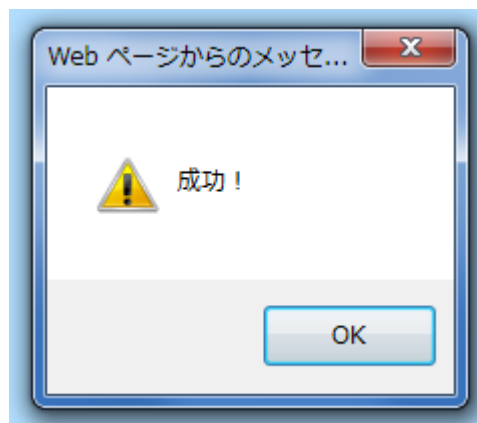


Figure 3-20

3. **OK** を押して設定を完了します。

PTZ プロトコル

既存カメラに対応したカメラコントロールプロトコルがなければ、適切なものをアップロードする必要があります。注意: 入力設定を変更すると、システムを再起動する必要があります。変更前に録画を停止してください。

1.  を押して、ローカルディレクトリーよりカメラコントロールのプロトコルファイルを選択します。(ファイルフォーマット「.ini」)
2. **開く(O)**を押します。
3. **アップロード**を押します。
4. **保存**を押します。

プロトコルの削除

1. **PTZ プロトコル** のドロップダウンリストより該当のプロトコルファイルを選択します。
2. **削除** を押すとダイアログボックスが表示されます。
3. **OK** を押して設定を完了します。

3.4.5 Video 調整

画像位置を押して、figure 3-21 のようなパラメーター設定ページを表示します。



Figure 3-21

1. **Video input** よりレイアウトの位置を変更させたい入力を選択します。



2. でレイアウト位置を上下左右に動かし、**速度**より動かす早さを選択します。

3.4.6 タイトル/ロゴ

タイトル/ロゴ を押して Figure 3-22 のようなパラメーター設定ページを表示します。

Figure 3-22

タイトル設定

1. **位置** のドロップダウンリストより動画コンテンツに設定するタイトルの位置を選択します。**左上**、**右上**、**なし**の3つより選択できます。**なし** はタイトルがないことを表します。
2. **内容**にタイトルの文章を入力します。
3. **時刻表示** にチェックを入れると Bee 8 に設定された時間の情報が動画コンテンツに表示されます。
4. **保存** を押すとダイアログボックスが表示されます。
5. **OK** を押して設定を完了します。

Logo 設定

注意: ロゴファイルは **.png** 形式で 192 x 64 以下のサイズのものにしてください。

1. **位置** のドロップダウンリストより動画コンテンツに設定するロゴの位置を選択します。**左上**、**右上**、**左下**、**右下**、**なし**の5つより選択できます。**なし** はロゴがないことを表します。
2.  を押してローカルディレクトリよりロゴファイルを選択します。
3. ファイルを選択し、**開く (O)** を押します。

4. **OK** を押すとダイアログボックスが表示されます。
5. **OK** を押して設定を完了します。

3.4.7 ディスク管理

ディスク管理 を押して Figure 3-23 のようなパラメーター設定ページを表示します。

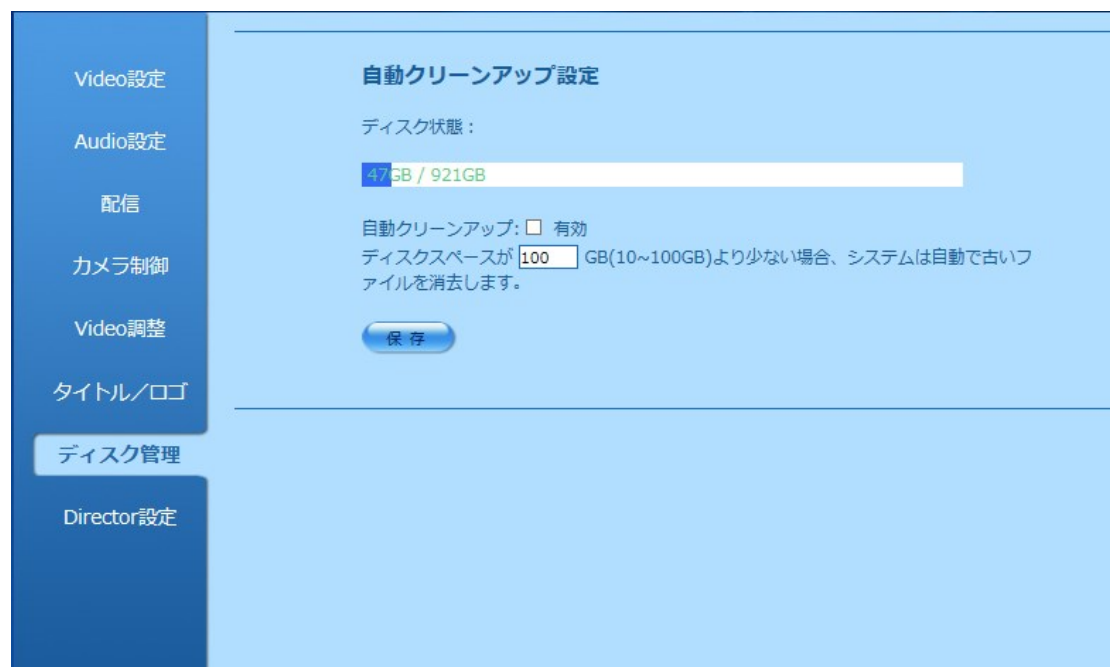


Figure 3-23

ディスク状態: Bee8 のディスクの使用量を表示します。

自動クリーンアップ: 有効にし、10-100 の数値を入力することで、ディスクスペースが 10-100GB より少ない場合、自動的に古いファイルを消去します。

3.4.8 PPT 切替

PPT 切替 を押して Figure 3-24 のようなパラメーター設定ページを表示します。



Figure 3-24

有効にチェックを入れると、INPUT3 に入力された映像が、録画開始時と画像が変化したときに、5-30 秒間、自動的に全画面で録画されます。録画開始時と画像が変化したときに全画面で表示させたい秒数をそれぞれ設定できます。

3.5 システム管理

システム管理を押して、システム管理ページを表示します。Figure 3-25 にあるようにデフォルトで**ネットワーク** タブが表示されます。**システム管理** ページは 6 つのタブ、**ネットワーク**、**ユーザー**、**機器名称**、**FTP**、**アップグレード**、**USB**、**PPTPush**、**制御モード**から成ります。



Figure 3-25

3.5.1 ネットワーク

DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)を有効にすることにより、自動的に Bee 8 の IP アドレスを取得することができます。あるいは、手動で IP アドレスを入力することができます。

1. **DHCP** の**有効** にチェックを入れることで自動的に Bee 8 の IP アドレスを取得できます。
2. **有効** にチェックがついていない場合、**IP address**、**Mask**、**Gateway**、**DNS** の情報を手動で入力することができます。

3.5.2 ユーザー

ユーザー を押して Figure 3-26 のようなパラメーター設定ページを表示します。

The screenshot shows a web interface for user management. On the left is a dark blue sidebar with a menu containing: ネットワーク, ユーザー (highlighted), 機器名称, FTP, アップグレード, USB, and PPT Push. The main content area has a light blue background and is divided into two sections. The top section is titled 'システム管理者' (System Administrator) and contains: 'ユーザー名: admin', '旧パスワード:' followed by a masked input field, '新しいパスワード:', 'パスワードの確認:', and a '保存' (Save) button. To the right of these fields is a red-bordered box with the text: '注意: ここでパスワードを変更した場合は、この機器に接続する Manager LiteやMedia Centerで使用するパスワードも変更してください！' (Note: If you change the password here, you must also change the password used by Manager Lite or Media Center to connect to this device!). The bottom section is titled 'ゲストユーザー' (Guest User) and contains: 'ユーザー名: guest', '新しいパスワード:', 'パスワードの確認:', and a '保存' (Save) button.

Figure 3-26

システム管理者のパスワード変更

管理者は Web ページにログインする権限を持っています。注意：管理者のパスワードを変更したあと、プラットフォームとメディアセンターを繋げるためのパスワードを変更する必要があります。

1. **旧パスワード** に変更前のパスワードを入力します。(デフォルト：**admin**)
2. **新しいパスワード** に新しいパスワードを入力します。
3. **パスワードの確認** に新しいパスワードを再入力します。
4. **システム管理者**にある**保存** を押して設定を完了します。

ゲストユーザーのパスワード変更

ゲストユーザーは RTSP のライブ配信視聴と iPad 端末コントロールへの登録の権限を持っています。

1. **旧パスワード** に変更前のパスワードを入力します。(デフォルト:**guest**)
2. **新しいパスワード** に新しいパスワードを入力します。
3. **パスワードの確認** に新しいパスワードを再入力します。
4. **ゲストユーザー**にある**保存** を押して設定を完了します。

3.5.3 機器名称

機器名称 を押して Figure 3-27 のようなパラメーター設定ページを表示します。ユーザーが定義した Bee 8 の名前を入力し、**保存** を押して設定を完了します。

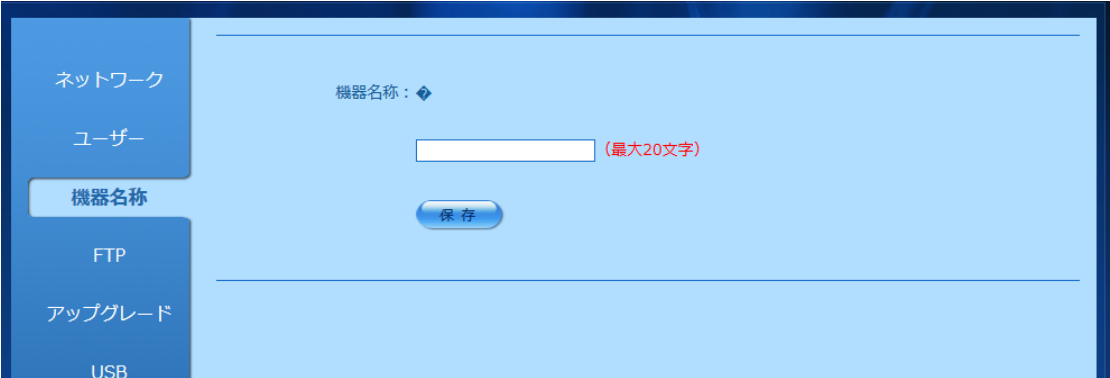


Figure 3-27

3.5.4 プラットフォーム

プラットフォームを押して Figure 3-28 のようなパラメーター設定ページを表示します。

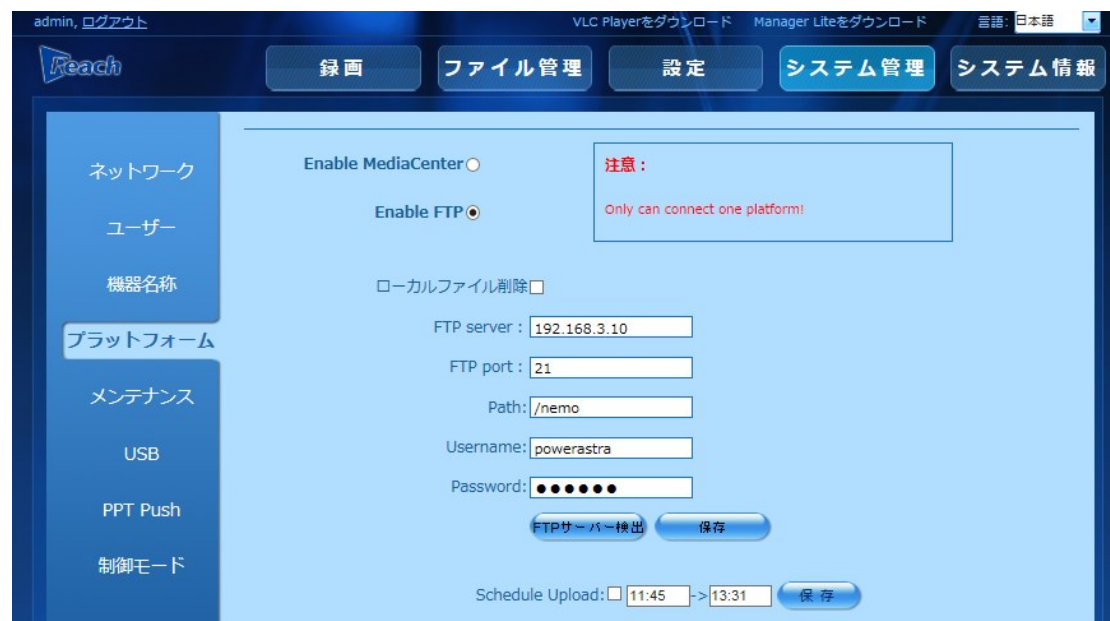


Figure 3-28

Bee 8 のファイルを FTP サーバーに接続するか MediaCenter に接続するかを選択します。

ユーザーは Bee 8 の動画コンテンツを FTP サーバーにバックアップするために、ネットワークを通じて FTP サーバーに接続できます。Bee 8 が FTP サーバーに接続されているとき、Bee 8 の動画コンテンツを Media Center にアップロードすることはできません。

FTP を有効にする: チェックがついているとき、収録された動画コンテンツは自動的に Bee 8 と FTP サーバーに保存されます。

ローカルファイル削除: チェックがついているとき、FTP サーバーにアップロード後、Bee8 にあるファイルは自動的に削除されます。

サーバーアドレス: FTP サーバーの IP アドレスを設定します。

サーバーポート: デフォルト値が与えられるため、設定の必要はありません。

Path: FTP サーバーに動画コンテンツを保存するためのパスを設定します。

Username: FTP サーバーにログインするためのユーザー名を設定します。(値は FTP サーバーのセットアップの間に構成されます。)

Password: FTP サーバーにログインするためのパスワードを設定します。(値は FTP サーバーのセットアップの間に構成されます。)

Schedule Upload: どの時間帯にアップロードするかを指定します。

3.5.5 メンテナンス

メンテナンス を押して Figure 3-29 のようなパラメーター設定ページを表示します。



Figure 3-29

システムアップグレード

このパラメーターは Bee 8 のシステムのバージョンをアップグレードします。

1. ******* を押してアップグレードするファイルを選択します。
2. **開く (O)**を押します。
3. **アップグレード** を押すとダイアログボックスが表示されます。

-
4. **OK** を押します。その後、Bee 8 が自動的に再起動し、システムアップグレードは完了となります。

時刻の設定

このパラメーターは、Bee 8 に表示される時刻を設定するもので、ローカルなパソコンの時刻と Bee 8 の時刻を自動で同期させます。

1.  を押すとダイアログボックスが表示されます。
2. **OK** を押して設定を完了します。

Reboot Strategy

再起動 を押して Bee 8 を再起動することができます。

再起動のスケジュールを指定した日時（Timing）、毎日（Daily1 回）、Weekly（毎週 1 回）で設定することもできます

3.5.6 USB

USB を押して Figure 3-30 のようなパラメーター設定ページを表示します。



Figure 3-30

動画ファイルをダウンロードするため、Bee 8 の USB ポートに USB ディスクが接続されているとき **USB ダウンロード** を**有効**にする必要があります。 その場合のみ、USB ディスクにファイルが保存されます。

Bee 8 で収録中は、**USB ダウンロード** が**有効/無効**に関わらず、USB ディスクに直接動画ファイルが書き込まれます。

3.5.7 PPTPush

PPTPush を押して Figure 3-31 のようなパラメーター設定ページを表示します。

Figure 3-31

Push 有効: チェックを入れると、INPUT3 に入力された映像を画面キャプチャし、静止画増として配信します。クライアントからのアクセスはインターネットブラウザから行うことができます。アクセス URL は **Contents Push URL** の項目に記述されています。
※QR コードでもアクセス可能です。

現在のクライアント数: 現在の PPTPush 機能にアクセスしているクライアント数です。

最大クライアント数: PPTPush 機能にアクセスできるクライアント数(1-40)を指定します。値を入力し、保存ボタンを押すと反映されます。

QR コード作成: クライアントからアクセスする QR コードを生成します。生成すると、画面に QR コードが表示されます。

3.5.8 制御モード

共通制御モード：422 のコマンド通信を行う際に設定します。

キーボード制御モード：Reach 社のコントローラを使用する際に設定します。

3.6 システム情報

システム情報 を押すと、システムバージョン、ハードディスクの空き容量、ハードディスクスペック、IP アドレスなどを確認できます。(Figure3-32)

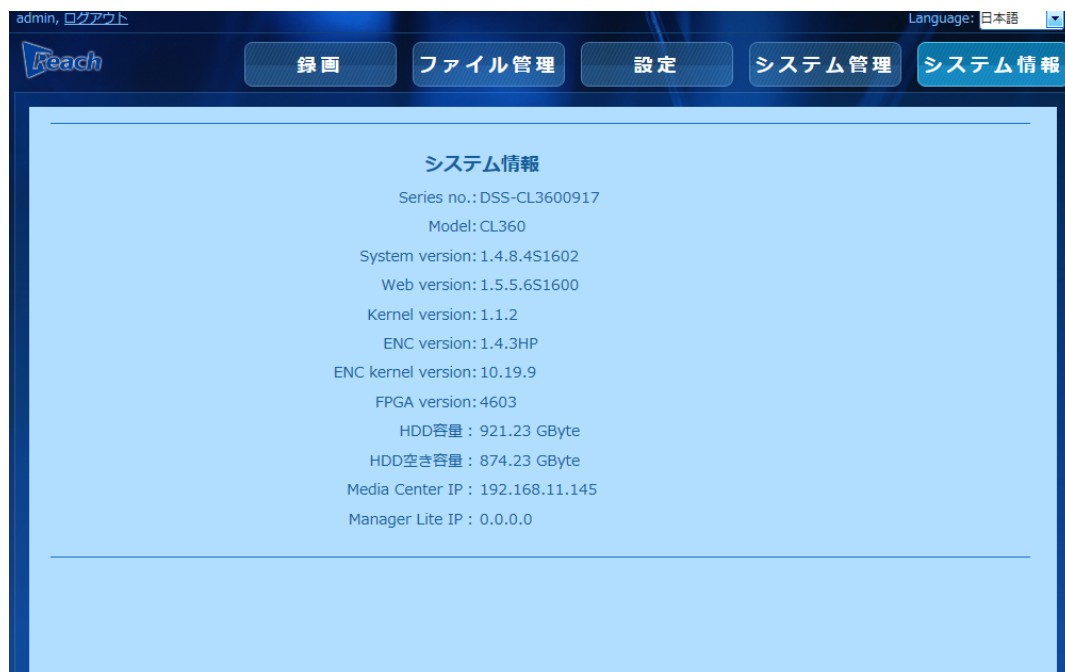


Figure 3-32

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 1-105 神保町三井ビルディング 21F

株式会社フォトロン 教育映像システム部

TEL:03-3518-6274 FAX:03-3518-6279

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～12:00 13:00～17:00

(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除く)

e-mail: e-solution@photron.co.jp

Photron